

海老名市立柏ヶ谷小学校 学校運営協議会 議事録
(令和5年度 第2回)

- 1 日時 令和5年11月24日(金) 11:40~12:40
- 2 場所 海老名市立柏ヶ谷小学校 会議室
- 3 委員 山崎久男委員、志村政憲委員、森山輝男委員、植木文夫委員、中垣洋委員、櫻井信夫委員、松本孝夫委員、萩原正規委員、小幡信司委員、大矢和正委員、齊藤裕子委員、鈴木佳子委員、石井友紀(校長)、姫野珠実(教頭) 青山明裕(教務主任)

【音楽会参観】(第2部 2・4・6年生)

- 【議題】 (1) 令和6年度にむけて
- ・学校の様子と課題
 - ・グランドデザイン(案)について
- (2) 学校評価アンケートについて
- (3) 60周年記念事業について
- (4) その他

4 校長挨拶

石井校長より

音楽会をご覧いただきありがとうございました。今日まで各学年一生懸命練習を重ねてきました。ここに至るまでには、様々な困難や課題を乗り越えてきています。児童も教員も頑張りました。

本日の会議では、来年度に向けたお話をさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

5 会長挨拶

山崎会長より

挨拶に代えて、先ほどの音楽会について感想を述べたい。今日の音楽会を参観することができ、子ども達には「ありがとう」と伝えたい。子ども達の様子を見ていて、自分の心が動いた。人は、心が動くと自然と笑顔になる。目元がゆるむと涙が出そうになる。それが感動というもの。子ども達には人の心を動かす力がある。幸せな気持ちにさせてもらったことに感謝したい。委員の皆様にも是非感想を述べていただきたい。

- 志村副会長：保護者の目線で見させてもらったが、子ども達が年々成長する姿が見えてよかった。音楽会に対する先生方の力の入れ方が伝わってきた。大変よかった。
- 大矢委員：今日の音楽会はとてもよかった。子ども達の頑張る姿はいつ見てもよい。
- 小幡委員：久しぶりの全校児童がそろっての音楽会であったが、とても素晴らしかった。先生方の指導も大変だったと思う。とてもよい会だった。
- 森山委員：とても素晴らしかった。全学年の発表を見ることができてよかった。演奏の内容は学年が上がるごとに高度になっていき、感動した。
- 植木委員：久しぶりの全校音楽会に感動した。先生方も指導が大変だったと思う。とても素晴らしかった。
- 櫻井委員：どの学年も演奏がよくそろっている。楽器の演奏はとても難しいので、たくさん練習したのだろう。素晴らしかった。
- 松本委員：今日は気温があたたかくてよかった。数年前の音楽会の日はとても寒く、会場でストーブを焚いていたので、その音が大きくて演奏が聞こえづらかった。今日は演奏がよく聞こえた。
低学年から高学年になるにしたがって完成度が上がっていった。特にハーモニーの美しさに感動した。先生方の指導も素晴らしい。
- 鈴木委員：とても感動した。6学年そろっての音楽会を見ることができてよかった。夏休みから練習が始まり、並行して運動会の練習もしながら、楽器のオーディションにも挑戦するなど、よく頑張っていた。明日の保護者向けの発表も頑張っしてほしい。
- 齊藤委員：演奏も素晴らしかったが、他学年の発表を聴く態度もよかった。また、全校児童で揃えたカラフルな記念Tシャツがきれいだった。普段あそびっ子で見せる顔や運動会で見せる顔とは違う子ども達の顔が見られてよかった。演奏だけでなく、代表で話をする子ども達の話し方がとても上手で度胸もあるなと感じた。
- 萩原委員：学年ごとの成長段階に応じた演奏だった。自分の子どもだけでなく、登校班の班長など、他学年の子ども達の頑張る姿も見られてよかった。

6 会議の内容

(1) 令和6年度に向けて

・学校の様子と課題

- 石井校長：インフルエンザの流行が収まらず、夏休み明けから、毎日何人も欠席者がいる現状。マスクをはずして生活するようになったことも影響しているかもしれない。また、全体的に体力が落ちているように感じている。疲れやすく、休み時間も晴れているのに室内で過ごす児童が多い。
登校をしぶる児童が出てきている。完全に登校できていない児童に加え、様々な理由で学校に来られなくなり、そのまま長期の欠席になっている児童が増えた。

・グランドデザイン（案）について

石井校長：児童の現状や課題から、次のように令和6年度のグランドデザインを考案した。

- ・学校教育目標は今年度と同様である
- ・よく考え、学び合う子（あたま）について
 - 【めざす学校の姿：確かな学力を育成し、共に学ぶ学校】
 - 本校の児童の学力は平均的であるが、授業の様子を見ると発言する児童や授業を動かす中心児童が決まっていることや本校校内研究の教科が国語であることなどから次の3つを重点目標とする
 - ことばを大切にし、ことばの力を育てる教育活動
 - 言語活動を取り入れた授業づくりの研究
 - 誰もが参加でき、自己肯定感がもてる授業 の3点を重点目標とする。
- ・豊かな心、思いやりのある子（こころ）について
 - 【めざす学校の姿：誰もが安心安全に過ごし、共に育つ学校】
 - 自分を大切にし、相手も大切にする児童指導
 - コミュニケーションの力を育成する集団活動の充実
 - 不登校対策の強化
 - 先に述べた不登校の実態があるので、今後も対策を強化したい。児童の多様性を認め、全教職員で全児童を育てていく。
- ・健康でたくましい子（からだ）
 - 【めざす学校の姿：たくましく未来を生きる力を育成する学校】
 - 体力の向上をめざした取組の充実
 - 遊びや運動を楽しむ機会の充実
 - 健康・命を大切にする自覚と態度の育成
 - コロナの影響もあるかもしれないが、体力がなく疲れやすい児童が多い。また、コンパス等の学習用具をうまく使いこなせない児童が見受けられる。手先の力が足りないのではなく体幹が鍛えられていないことが原因ではないだろうか。走る・跳ぶなどの基本的な運動を取り入れた活動を充実させたい。
- ・すべての子どもの学習権を保障するために、すべての子どもが大切にされるインクルーシブな学校をめざす。
- ・来年度入学予定の1年生は今のところ42名であり、市内で一番少ない人数となる。小規模校の強みを生かす取組として異学年交流活動に取り組みたい。

* これらを重点目標とする。このような学校をめざすために、来年度は、校内研究の充実、ことばの力を育てる教育活動の充実、不登校未然防止の取組、異学年交流活動の取組、これらのほかに、これまでに継続して取組んでいるかしわっこファーム（野菜づくり）以上の5つを特色ある取組として、来年度予算の申請をする。

山崎会長：来年度、新たに「めざす教師像」の中に『想像力と創造力』を入れたのはなぜか。言語活動を取り入れた授業づくりの研究とあるが、『言語活動』とは具体的にどんな活動か。来年度、『道徳教育の充実』を明記したのはなぜか。不登校対策の強化とあるが、どのように何を強化するのか。『緊急時の備えと対応の周知徹底』が「健康でたくましい子（からだ）のグループ」の枠の中に入っているが、違和感がある。

『すべての子どもの学習権を保障するために、すべての子どもが大切にされるインクルーシブな学校』とあるが、保護者にわかりやすいようにインクルーシブとは何かという説明を加えるとよい。

志村副会長：『すべての子どもの学習権を保障するために、すべての子どもが大切にされるインクルーシブな学校』は校長先生のカラーを前面に出し、推し進めていかれるというところがよい。また、あらゆる考えを認め、排除しないというインクルーシブな取組は『多様性の尊重』にも通じる。コミュニケーション力を高めるための教育は家庭でも行っているが、学校でもコミュニケーション力の向上に力をいれた取組がなされることはありがたい。

松本委員：自分の考えを説明することが大人でも難しいと感じている人が多い。プレゼンテーション力は将来的に大切な力であるため、『ことばを大切にし、ことばの力を育てる教育活動』の中で教育していただきたい。

萩原委員：来年度の新入生がとても少ないことに驚いた。人数の少なさを強みにした異学年交流は、とてもよいと思う。上下のつながりや、上級生が下級生を支え、下級生は安心して上級生に助けを求められる関係が理想である。また、今年度の柏小まつりは、柏ヶ谷中学校の中学1年生にボランティアの募集をし、10数名が活動に参加してくれることになった。これも異学年交流の一環と考えており、来年度も継続したい。

小幡委員：来年度の1年生が40数名なのは、柏ヶ谷小学校だけなのだろうか。小学校の児童数が減少するとなると、中学校の生徒数も減少傾向になる。今後は幼保小中連携の充実も図る必要がある。

鈴木委員：『体力の向上をめざした取組の充実』について、放課後のあそびっ子に行って、元気に外遊びをしている子は、決まった子だということを聞いたことがある。わが子を見ていても、外で遊ぶことが少ない。外遊びは嫌いではないはずだが、休み時間は行事のための練習や準備などやらなくてはいけないことがあり、遊ぶ暇がないと話している。最近の子ども達は習い事があり、放課後に遊ぶ時間もない。そのようなことから、学校で、「この日（この曜日のこの時間）は外遊びの日」のように決めてもらえると外遊びがしやすいのではないか。

山崎会長：来年度のグランドデザインの中に昨年度は示されていた「ICT」に係る項目がないが、ICTの活用は大事だと思う。併せて情報教育の基礎も教えることも必要。どこかに項目を入れていただけるとありがたい。

森山委員：海老名市役所に展示されていた統計グラフィックコンクールの中に、柏ヶ谷小学

校の児童が作成した「みんなのイライラ大調査」という作品があった。クラスの友達にイライラしたことなどを調査している内容で、子ども達が日頃ストレスを抱えて生活している様子がうかがえた。このようなことがいじめや不登校に発展しているのかなとも思った。

齊藤委員：たしかに、放課後にあそびっ子に来ている児童は、一定の児童である。わが子が小学生だった十数年前と今の子ども達を比べると時代の流れを感じる人が多い。子ども達が外で遊ばなくなったということについても、周りの環境が変わっているので仕方がない。令和の子に合わせていけないといけないと思っている。変わってきているのは、子ども達だけではない。保護者の方々においても同じで、PTA活動やボランティア活動への参加が難しく協力できないということについても、これからはそれを踏まえた対応を考えていかなければいけないのだと思う。

子ども達はストレスを感じながら生活している。低学年の児童の高学年に対する態度や言動から、上下関係を理解している様子が感じられない。保護者の協力体制も変わってきている中で、親でない大人が子ども達を見守り、育てていく必要性を感じている。

石井校長：今回提案したグランドデザインについては、次回も協議をお願いし、今回出された質問については、あらためて説明していく。

(2) 学校評価アンケート

石井校長：今年度の学校評価アンケートは、すでに実施済。調査結果について、次回、(の学校運営協議会で)報告する。

(3) 60周年記念事業

青山教務：12月19日(火)に本校体育館にて、「60周年記念式典」を行う。是非ご出席いただきたい。

7 その他

(1) 運動会について

志村副会長：コロナ禍の中で様変わりしてきた運動会だが、今年度も午前中で全日程を終えるコンパクトな内容はよかった。朝早くから観覧場所を確保するために開門を待つこともなく、わが子の演技や競技を前列で見ることができるように入れ替えをするなどの工夫もよかった。周りの保護者からもそのような声が聞こえている。また、今年度は、大きく観覧レイアウトが変更になったこともよかった。

森山委員：杉本小学校の運動会は、柏ヶ谷小学校とは異なり、得点が入ったり、赤白分かれていたりするがリレーは行われなかった。どちらがよいかわからないが、それぞれに違いがあるのだと感じた。

鈴木委員：今年はとても暑かった。そのため、熱中症警戒アラートが発出されると運動禁

止となり、そのために練習の回数が減ったと聞いている。開催時期をずらすことや音楽会と入れ替える等などの対策をとったほうがよいかと思うが、行事は様々な兼ね合いがあることも承知しているので難しいところである。

(2) 体育館について

松本委員：校舎の外壁工事が行われ、きれいになるが、体育館の改装はしないのだろうか。近隣校の体育館は改装されて空調設備も整っていると聞いている。柏ヶ谷小学校の体育館は古すぎる。

植木委員：校庭の西側に2、3階建ての体育館を建てるといような話を市長がしていたが、そうすることで校庭が狭くなるという弊害があり、なかなか計画が進んでいないようである。

(3) 住所標記のついて

山崎会長：学区の住所標記が新しくなることに向けて、変更に伴う影響を考え、対策案等、準備を進めてほしい。

森山委員：「柏ヶ谷」の名称はこのまま残る。来年の8月くらいに変更と聞いている。

小幡委員：柏ヶ谷〇丁目という線引きになることで、学区もきれいに線別できるようになるようだ。

8 事務連絡

・ 次回の学校運営協議会の日程確認

第3回学校運営協議会 令和6年2月23日（金祝）10:00～12:00